



医療経営士ニュース | これからの医療現場を担う経営人材のための機関紙

MMS NEWS

2017 **10** 月号
Vol.80
毎月1回発行(通巻80号)
編集:日本医療企画

一般社団法人日本医療経営実践協会 〒101-0033 東京都千代田区神田岩本町4-14 神田平成ビル7F TEL.03-5296-1933 <http://www.JMMPA.jp/>

第6回「全国医療経営士実践研究大会」広島大会 演題発表者が決定!

医療経営士の存在価値を示す 完成度の高いプレゼンに期待!

11月18日(土)・19日(日)に開催される第6回「全国医療経営士実践研究大会」広島大会の演題発表者16人が決定した(9月20日現在)。今年はどうなテーマの発表が会場を盛り上げるのか。発表者の顔ぶれとともに今大会の演題発表の概要を紹介する。

全国大会のメインプログラムである演題発表は、医療経営士が日頃、現場で取り組んできた実践の成果を報告する場であり、参加者それぞれが得た知識を自らの職場にフィードバックし、医療界全体を活性化することを目的としている。

今大会では、「主役は医療経営士」というコンセプトをより鮮明に打ち出すため、発表枠を過去最多の20枠へ拡大した。9月20日現在、16人の発表者が決定しており、演題登録は引き続き募集中だ。我こそはと思う医療経営士からの登録を待っている。

発表者は演題カテゴリ(下表参照)ごとに4つのセッションに分かれて発表し、発表後は審査委員長の吉長成恭氏(県立広島大学大学院経営管理研究科

MBA客員教授)が座長を務め、会場とのディスカッションや質疑応答が行われる。優秀な発表者に対しては人数を制限することなく審査委員奨励賞を授与し、その他、中国支部長賞、インパクト賞などを与える予定になっている。

発表者の内訳を支部別に見ると、関東支部が最多の5人、地元の中国支部からは2人となっている。また、論文発表では、久嶋健一郎氏(国立研究開発法人国立循環器病センター医事室)の論文が大会当日に配布する『大会抄録集』に掲載される。

なお、10月下旬発行予定の会報誌『理論と実践(通巻26号)』には、全発表者の大会に向けた意気込みを掲載。こちらもぜひ楽しみにしていただきたい。

演題発表者と演題タイトル一覧 (9月20日現在。支部別、50音順)

所属支部	発表者名 (所属機関名・役職)	演題タイトル([]内は演題カテゴリ)
北海道	平間康宣氏 (医療法人仁友会仁友会本部本部長)	[A] 法人合併の実務を経験して～医療経営士スキルを総動員してM&Aを成功に導く～
関東	小川 卓氏 (医療法人財団献心会川越胃腸病院医療サービス対応事務局)	[A] 医療機関における職種組織横断型組織の運営について
	加茂康太氏 (弁護士法人TLEO虎ノ門法律経済事務所/弁護士)	[A] 未定
	金城悠貴氏 (済生会横浜市東部病院医事企画室)	[C] 医療経営士の人材育成と人脈育成
	佐藤 亮氏 (医療法人社団賢仁会あすみが丘医院事務長)	[B] より多くの患者様に在宅医療を提供するために～在宅療養支援診療所間の当直機能連携の取り組み～
	蜂谷明雄氏 (一般財団法人医療情報システム開発センター医療情報活用推進部門CIO支援チーム)	[A] 院内における医療情報の取り扱いに関する教育について
北陸	古賀利孝氏 (白山石川医療企業団事務局次長)	[A] 地域包括ケアシステムの実現に向けた“まちづくり”～入退院支援が支える病院と医療-介護連携～
	中神勇輝氏 (医療法人真生会真生会富山病院経営企画室兼医事課副主任)	[A] 数字がすべて? いえいえ、数字は手段。データをきっかけに、現場とのコミュニケーションを取り、問題意識の共有を図り、行動のきっかけをつくり、成果を実感し、未来につなげたい!
	濱名孝行氏 (医療法人真生会真生会富山病院経営企画室室長補佐)	[A] 経営企画室の立ち上げと3年間の軌跡～場づくりと伴走者としての医療経営士の役割～
東海	宮下 崇氏 (順天堂大学医学部附属静岡病院医療サービス支援センター地域医療連携室係長)	[B] 施設基準管理の知識を以て挑む地域の全体最適～ファーストステップ～
	渡辺 徹氏 (名古屋第一赤十字病院管理局)	[C] 医療機関の「働き方改革」を推進するためのリーダーシップ活動
関西	酒井利明氏 (社会福祉法人恩賜財団済生会京都府病院医事課主事)	[C] SNSを活用した、地域横断的な情報共有の可能性
	益田敏治氏 (株式会社ベネスト ビジネスアドミングループ マネージャー)	[B] 医療経営士が地域活動でできる事
中国	相田英作氏 (福山市民病院管理部経営企画課企画担当)	[A] 原価計算をプラス思考で活用する～医療の質、経営の質向上を目指したイノベーション～
	水田美紀氏 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科修士課程)	[D] 未定
九州	黒枝貴洋氏 (社会医療法人敬和会大分同病院医療福祉支援部)	[B] 医療福祉支援部の営業活動の取り組みについて

※演題タイトル等は変更になる可能性があります。演題カテゴリは[A]経営改革、[B]地域医療連携、[C]人材育成・養成/人材活用、[D]患者サービス/広報

第6回 全国医療経営士実践研究大会 広島大会

2日間開催

2017年
11月18日(土)
11月19日(日)

参加登録受付中! プログラム決定!

変革期に求められる 医療経営士の使命と課題

—現場主導による経営改革と新しい地域づくり

今なら
事前参加
登録料金で
お申込み
いただけます!

会員及び会員申請中
15,000円(税込)
※2日間参加の場合の料金です
※会員以外の方の方は
20,000円(税込)

会場 広島YMCA国際文化センター
本館地下1階・国際文化ホール(広島県広島市中区八丁堀7-11)

大会運営委員 梶原四郎
日本医療経営実践協会中国支部支部長/医療法人社団清風会理事長

第5期「経営人材育成中村塾」が盛況裡に終了

— 塾長の教えと塾生間の切磋琢磨を成長の糧に、飛躍を誓う！

熱烈講義に加え、新機軸「中村実践道場」を新設

5月13日にスタートした第5期「経営人材育成中村塾」(以下、中村塾)が9月9日に最終回を迎えた。2013年12月の旗揚げから、第1期(全6回)、第2期(全5回)、第3期(全4回)、第4期(全5回)と期を重ね、第5期(全5回)までのこの間、塾生は延べ124人を数えるに至った。

第4期を第1期から第3期までの集大成として位置づけ、第5期は塾長の中村氏による熱烈講義に、新機軸として「中村実践道場」と称し、塾生による10分間のプレゼンテーション(以下、プレゼン)と、プレゼン

塾長の中村彰吾氏。聖路加国際病院や東京都健康長寿医療センターで経営改革を推進し、現在は全国数々の病院において経営指導者として奔走。本協会参加



ンを踏まえたグループディスカッションが加えられた。プレゼンは、各回5人(最終回のみ4人)が行い、その後、プレゼンターを5班に1人ずつ振り分け、そのプレゼンターが発表した異なるテーマについてそれぞれ班ごとにディスカッションを行う仕組みがとられた。

プレゼンターは、机上の研究テーマを論じるのではなく、現在自身が抱えている仕事上の悩み、自身や組織が直面している課題をテーマに発表を行うことが義務づけられ、グループメンバーは、プレゼンターの悩みや課題を我が事として考え、自身の経験や知識を搾り出し知恵を出し合った。

同じ班以外のプレゼンターの悩みや課題については、毎回行われているアンケートに自分なりのアドバイスや提言を記し、最終的には塾生全体の共有知として閲覧できるよう公開されている。

では、中村塾(塾生)が目指すものとして、以下の3つの目標(志)が掲げられた。

- 塾生は、病医院経営の中心を担い、地域に飛び出し、地域医療・地域社会へ貢献する
- 塾生は、各地域(医療)の拠点リーダーとなって、地域研究会を主宰する
- 塾生は、日本の医療制度・医療行政に対し、政策提言を行う

これに加え、経営人材育成の裏ミッション、その成果として、

- 「全国医療経営士実践研究大会」(以下、全国大会)の演題発表者の輩出
- 「医療経営士1級」資格認定者の輩出

事実、第6回「全国医療経営士実践研究大会」広島大会の演題発表において、第5期生から3人、塾生OBから5人の参加が見込まれている。

第5期に新たに加えられた塾生によるプレゼンも、全国大会の演題発表に向けた仕掛け、いわば予行演習といえる。塾長の中村氏



【上】新設された「中村実践道場」。自身の抱える仕事上の悩みや課題を10分間でプレゼン。この後、プレゼンの内容を踏まえグループディスカッションを行う。
【下】第5期生を中心に、第1期生から第4期生までが加わった第5期最終回における同窓会の集合写真

は、医療経営士の発信力を重視し、塾生には院内発表はもとより、全国大会の演題発表をはじめ、学会や他の協会での発表・講演について積極的な奨励を行っている。

塾長、塾生同士の深まる絆、強まる結束

その他、中村塾を特長づけるものとして、前述したアンケート、塾終了後の塾長および塾生同士が膝を交えた形の懇親会、規定回数以上の出席者に対する修了証の授与や、各期最終回におけるOB・OG参加の同窓会が挙げられる。

アンケートには、塾生による講義内容やグループデ

イスカッションに対する評価のほかに、詳細な感想や質疑等も書かれ、塾長の中村氏が1つひとつ具体的なかつ丁寧に応えるとともに、P D C Aサイクルよろしく、質向上のためのフィードバックの材料として活用される。塾終了後の各回における懇親会や最終回の同窓会は、塾長と塾生、同期および期を超えた塾生同士の絆を深め、結束力を高めているといえる。

2018年度の第6期開催については、現在準備を進めている最中だ。開催が決まり次第、詳細は本協会および日本医療企画のホームページや各種媒体においてお知らせする予定である。

新刊

「医療経営士」必携! ~実務に役立つオススメ推薦図書~

2018年度同時改定からはじまる 医療・介護制度改革に向けた病院経営戦略

主な内容

診療・介護報酬W改定/第7次医療計画/地域医療構想/医療法人制度改革/社会福祉法人制度改革/介護医療院/薬価制度の抜本改革/介護保険法改正

~未来が見えると、経営戦略がわかる!~

【第1章】社会保障制度改革の進捗 【第2章】「保健医療2035」が示す社会保障の将来像

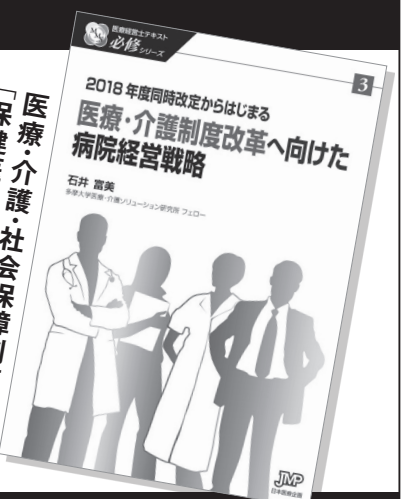
【第3章】2018年度からの医療・介護制度&政策の最重要ポイント

■著者:石井 富美 多摩大学医療・介護ソリューション研究所 フェロー

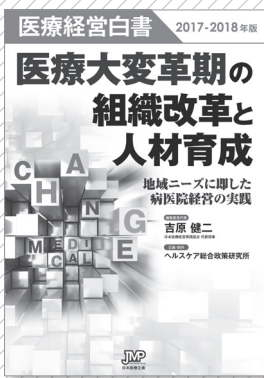
■体裁:B6判・並製、148ページ ■定価:1,620円(税込) → 会員価格:1,296円(税込)

医療経営士テキスト 必修シリーズ③

「医療・介護 社会保障制度改革、日本の将来像を重要施策&キーワードから理解し、これからの医療経営の視点、考え方を身に付けるための1冊。



『医療経営白書2017-2018年版』、待望の発刊!



医療大変革期の組織改革と人材育成 地域ニーズに即した病医院経営の実践

■編集委員代表 日本医療経営実践協会 代表理事 吉原 健二
 ■編集委員 日本病院会 会長 相澤 孝夫 全日本病院協会 会長 猪口 雄二
 日本医療法人協会 会長 加納 繁照 日本精神科病院協会 会長 山崎 學

B5判・並製・340ページ
 ISBN978-4-86439-589-2
 定価: 5,200円+税
 発行: 株式会社日本医療企画

日本医療経営
 実践協会
 推薦図書

本書の読みどころ

■第1部 総力特集

第1章[座談会]

地域医療再編をチャンスに変える組織改革と人材育成

講演や執筆など多方面で活躍中の医療経営コンサルタント・裴英洙氏を司会に、若手経営者らが医療・介護の課題と展望について白熱議論。実際に陣頭指揮をとる若手経営者が実践する組織改革や人材育成の新発想・新手法が多く提示され、読みごたえ十分!

第2章[各部門における経営戦略]

医療大変革期における部門別 組織改革と人材育成

各部門が専門性を最大限に発揮し、成果を積み重ねていくことが、健全な病院経営につながる。各部門において、病院の方針を実現するための組織強化や、経営の一翼を担える人材の育成が求められる。主要8部門(診療部門、看護部門、経営企画部門、事務部門、地域連携部門、在宅医療部門、薬剤部門、栄養部門)を取り上げ、改革を成功させてきた実践者たちが、部門別の組織・人材マネジメントの要点を示す。

■第2部

医療界最新経営動向 2017-2018年トピックス

2018年度診療報酬・介護報酬同時改定の論点整理と医療機関における対応策や、「介護医療院」転換に向けたポイントを解説。

※2017年9月、2018年1月、2018年5月に会員期限を迎える正会員の皆さまには、更新時の特典として、本書を無償にてご提供いたします。

第7次医療計画、地域医療構想、新専門医制度、医療法人制度改革、介護保険事業計画、そして診療報酬・介護報酬同時改定——と、2018年度から医療・介護のさまざまな制度がいつせいに始まります。そのさまは「惑星直列」と称されるほど。医療経営も、大きな影響を受けると考えられますが、診療報酬改定や制度変更には踊らされては、本来の経営はできません。病医院が喫緊に取り組むべき課題は、制度や経営環境の変化に柔軟に対応できる、強い組織をつくることではないでしょうか。病床機能報告制度などから

は中長期的視点で自院の方向性を定めることが求められています。経営計画が画餅で終わらないようにするためには、目指すべき方向に一丸となつて邁進できる組織をつくり、各部門においてリーダーシップを発揮できる実践者を育成することが必要です。そこで『医療経営白書2017-2018年版』では、「医療大変革期の組織改革と人材育成」をテーマに掲げました。医療の大変革が病医院経営にもたらす影響を踏まえたうえで、それに対応するために必要な組織改革と、次代の病医院経営を担う人材の育成について考察します。

医療政策論議が本格始動する2018年度
 医療機関が取り組むべき課題・対策がわかる!

支部NEWS

関東支部

「石井ゼミ」(全4回) / 「長ゼミ」(全8回)が終了

人気講師によるゼミを通して実践力を高める

経営人材に必須の力を
 高める「石井ゼミ」

関東支部では6月17日から全4回で「経営人材としての総合力を高める「石井ゼミ」を開催した。8月19日には、石井富美氏が上梓した『2018年度同時改定からはじまる 医療・介護制度改革へ向けた病院経営戦略』(日本医療企画)をテキストに講義を行った。冒頭、いわゆる「骨太方針17」に触れ、「主要分野ごとの改革の取り組みの最初に社会保障が挙げられており、『医療費適正化』『2017年度診療報酬・介護報酬改定等』『人生の最終段階の医療』などのキーワードが含まれている。厚労省等での議論を待たずに基本的な方針が示されているので、確認しておきたい」と話した。その後、テキストに沿って▽社会

保障制度の変遷、▽地域包括ケアシステム構築、▽社会保障制度改革国民会議報告書、▽プログラム法——などについてその内容や病院への影響を読み解くとともに、医療経営士が押さえておくべきポイントを指南した。

「保健医療2035」についても解説。①自らが受けるサービスを主体的に選択できる、②人々が健康になれる社会をつくり、健康なライフスタイルを支える——という「ライフデザイン」をテーマに、医療や介護にかかわる人材に何ができるかをグループで討議した。



「保健医療2035」をテーマにグループディスカッションを実施

「実践できる人材」を
 育成する長ゼミが終了

4月2日から全8回の日程で、「医療経営士1級合格を目指す! 長ゼミ」が行われた。東日本税理士法人所長の長英一郎氏が経営改善に必要な基本テーマは押さえながらも、その時々をトピックを織り交ぜて講義を展開。さらに、論文作成、ゼミ生によるプレゼンテーション、グループワーク、ディベートなどを通じて「実践できる人材」の育成を目指した。

8月6日の最終回では、長氏が「厚生労働省資料の読み方」をテーマに講義。「中医協や社会保障審議会だけではなく、さまざまな検討会が開催されており、経営上重要な意味を持つこともある。最近では、『医師の働き方改革に関する検討会』などがある。そうし

た情報をチェックし、情報を経営層に上げていくことも医療経営士の重要な役割」と述べた。

ゼミ生2人による10分プレゼンに続いて、要介護2の高齢者の区分変更申請という設定で模擬介護認定審査会を実施。ゼミ生が「要介護高齢者」「家族」「主治医」「ケアマネジャー」「介護認定審査会委員」などに分かれ、区分変更申請の流れを実際に演じながら理解を深めた。

最後にゼミ生がそれぞれの抱負を発表。和気あいあいとした雰囲気なかで終了した。



東日本税理士法人内の研修センター「HeLIC」で開催された

事務局 掲示板

～日本医療経営実践協会からのお知らせ～

広島大会の告知ポスターが完成
職場やお取引先に掲示していただける
会員の方を募集!

11月18日(土)・19日(日)に開催される第6回「全国医療経営実践研究大会」広島大会の告知ポスターが完成しました。事務局では、職場やお取引先などでポスターを掲示し、広島大会の告知にご協力いただける会員の方を募集しています。

ポスターをご希望の方は下記お申し込みアドレスへ「全国大会ポスター希望」とタイトルをつけ、お名前、所属先、所属部署、肩書き、送付先住所、電話番号、必要枚数をご明記の上、ご連絡ください。ポスターは枚数に限りがあるため、ご希望の枚数を調整させていただく場合がございます。皆様の応募をお待ちしております。



【お申し込み】
E-mail:
info@jmmpa.jp

支部活動に参加してレベルアップを図ろう!

PICK UP 研究会

10/28 東海支部

医療経営士・介護福祉経営士東海支部合同セミナー
坪ゼミ「医療・介護現場の問題解決法」第1回(全4回)

社会医療法人愛仁会高槻地区事業統括部長の坪茂典氏を講師に迎え、関西支部で好評を博した「坪ゼミ」の東海支部開催が決定! 全4回のテーマは「科学的問題解決の考え方(総論・基本編)」「問題解決型の考え方(各論Ⅰ)」「課題達成型の考え方(各論Ⅱ)」など。医療や介護の現場で日々発生する大小さまざまな問題に対する“その場凌ぎ”ではない解決法を学ぶ。

- 日時
10月28日(土)、11月25日(土)、12月16日(土)、
2018年1月20日(土) ※各回14:00~17:00
- 会場
日本医療企画中部支社(愛知県名古屋市)
- 参加費(税込)
会員:全4回10,000円、各回:3,000円
一般:全4回15,000円、各回:4,000円
- お問い合わせ先
日本医療企画中部支社(担当:吉野)
TEL:052-209-5451

10/28 九州支部

継続研修と議論で実力をつける
現場の経営力を高める「藤井塾」

地域医療構想が本格始動した現在、日々変動する医療情勢を読み取り、どのように経営の現場で取り組んでいくのか、事務長や事務系職員の手腕が問われている。九州支部では、2か月に1回の継続研修として「藤井塾」を開催し、経営トピックの検討や実践ケーススタディなどを通し、経営力の向上を図る。講師は特定医療法人谷田会谷田病院事務部長の藤井将志氏。

- 日時
10月28日(土)14:00~17:00
- 会場
日本医療企画九州支社セミナールーム
(福岡県福岡市)
- 参加費(税込)
会員2,000円/非会員4,000円
- お問い合わせ先
日本医療企画九州支社(担当:杉安)
TEL:092-418-2828

日本医療経営実践協会 支部研究会スケジュール

開催日	開催支部	テーマ	講師
10月6日(金)	北海道	経営企画の力を向上させる「石井ゼミ 2017 in 北海道」 同時改定からはじまる「医療・介護制度改革へ向けた経営戦略」 ※7日(土)との2日間開催	石井富美氏(超高齢社会健康・医療・くらし研究所主任研究員、多摩大学医療・介護ソリューション研究所フェロー)
10月8日(日)	九州	医療経営セミナー 「2018年診療・介護報酬同時改定の解説と これからの在宅医療の方向性」	中村哲生氏(医療法人社団永生会特別顧問)
10月14日(土)	東海	経営人材としての総合力を高める「石井ゼミ」第2回(全4回)	石井富美氏(超高齢社会健康・医療・くらし研究所主任研究員、多摩大学医療・介護ソリューション研究所フェロー)
10月21日(土)	関西	医療経営士・介護福祉経営士関西支部合同研究会 患者からのクレーム対応術② 医療過誤訴訟を中心に	胡 健介氏(医療訴訟特化弁護士)
	中国	地域医療構想時代を生き抜く切り札・ 経営企画力を高める「石井ゼミ」4日目(全4回)	石井富美氏(超高齢社会健康・医療・くらし研究所主任研究員、多摩大学医療・介護ソリューション研究所フェロー)
10月28日(土)	東海	医療経営士・介護福祉経営士東海支部合同セミナー 坪ゼミ「医療・介護現場の問題解決法」第1回(全4回)	坪 茂典氏(社会医療法人愛仁会高槻地区事業統括部長、社会福祉法人愛和会本部統括部長)
	九州	継続研修と議論で実力をつける 現場の経営力を高める「藤井塾」	藤井将志氏(特定医療法人谷田会谷田病院事務部長)

※日程等は変更になる場合があります。詳細は協会ホームページでご確認ください。

病院経営カンファレンス開催決定! 病院経営者のご参加をお待ちしております

開催日時: 10月28日(土)

フェイス・スリー
Presents

“診療報酬&介護報酬ダブル改定”

進む医療と福祉の一体化、
柱は地域包括ケアシステム・
病院機能再編・地域医療構想

平成30年度のダブル改定をどう読み、どう対応するのかが非常に重要であり、今後の地域包括ケア時代を生き抜くターニングポイントになると考えられます。同セミナーの基調講演①では、ダブル改定の展望と対応策について、基調講演②では、医療から介護まで切れ目のないヘルスケアのダブル改定をどう捉え、どう対応するかについて講演。また、基調講演①と②の合間には、ダブル改定攻略のヒントを企業の立場から提案するセミナーも行われ、充実のプログラムとなっています。

概要
開催日 2017年10月28日(土) 10:30~17:00(開場10:00)
会場 秋葉原UDX GALLERY 東京都千代田区外神田4-14-1 JR秋葉原駅 電気街口より徒歩2分
参加費 無料(昼食付)
定員 200人 ※定員になり次第、締め切らせていただきます
対象 病院経営者
主催 株式会社 日本医療企画

セミナー内容
基調講演 1 10:30~11:30 2018年診療・介護報酬同時改定の展望(仮)
株式会社ASK 梓診療報酬研究所 代表取締役 中林 梓氏
11:50~14:45 企業セミナー①~⑥予定
基調講演 2 15:05~16:05 2018年診療・介護報酬同時改定の展望~永生会の戦略~(仮)
医療法人社団永生会理事長 安藤 高朗氏
医療法人社団永生会特別顧問 中村 哲生氏

